

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第9週の発生動向

□ トピックス

・インフルエンザ（定点報告対象疾患）：インフルエンザの定点当たり報告数が7.4と前週の約0.7倍に減少し、今シーズン流行期に入って初めて流行警報レベル終息基準値（10.0）を下回りました。詳細後述。

□ 全数報告の感染症（9週までに新たに届出のあったもの）

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 5 例。3 類感染症：報告なし。4 類感染症：報告なし。
5 類感染症：劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2 例、後天性免疫不全症候群 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	40 歳代	男	無症状病原体保有者	—
			80 歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱
		都城	60 歳代	女	肺結核及び結核性胸膜炎	発熱、胸水貯留
			90 歳代	女	右頸部リンパ節結核	頸部リンパ節腫大
日南	70 歳代	男	肺結核	咳、痰		
5類	劇症型溶血性 レンサ球菌感染症	宮崎市	60 歳代	女	—	ショック、肝不全、腎不全、DIC
		延岡	30 歳代	女	—	ショック、肝不全、腎不全、急性呼吸窮迫症候群、DIC、軟部組織炎、全身性紅斑性発疹等 血清群：A群
	後天性 免疫不全症候群	宮崎市	10 歳代	男	AIDS	発熱、下痢、腹痛 指標疾患：サイトメガロウイルス感染症

《前週との比較》

□ 定点把握の対象となる5類感染症

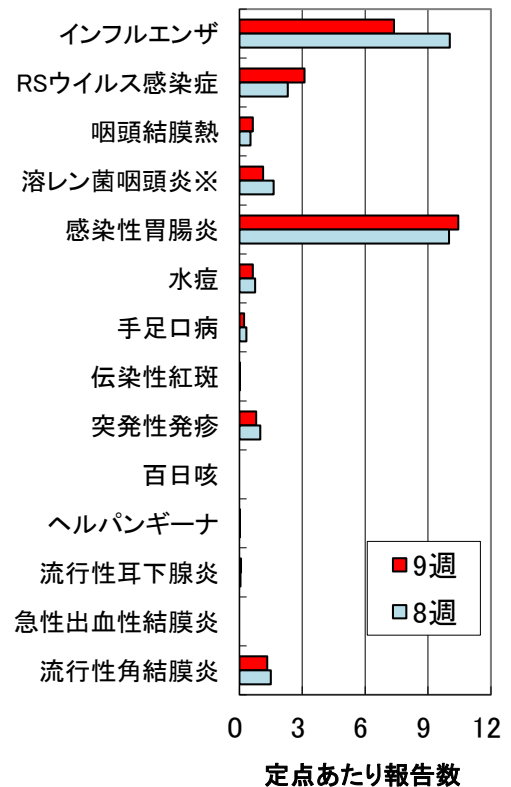
・定点医療機関からの報告総数は1,061人（定点当たり26.0）で、前週比92%と減少した。前週に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症で、減少した主な疾患はインフルエンザとA群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

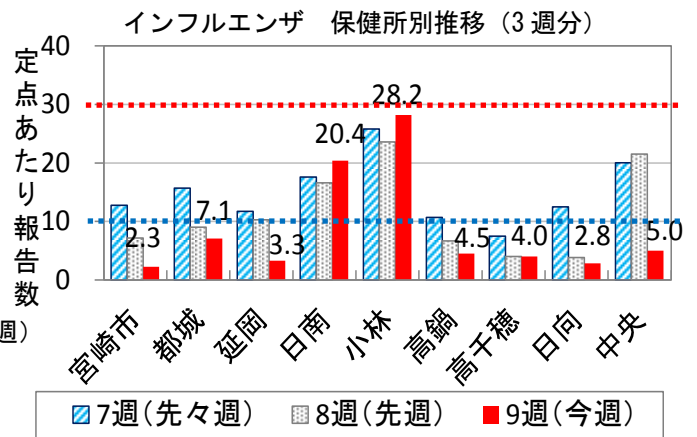
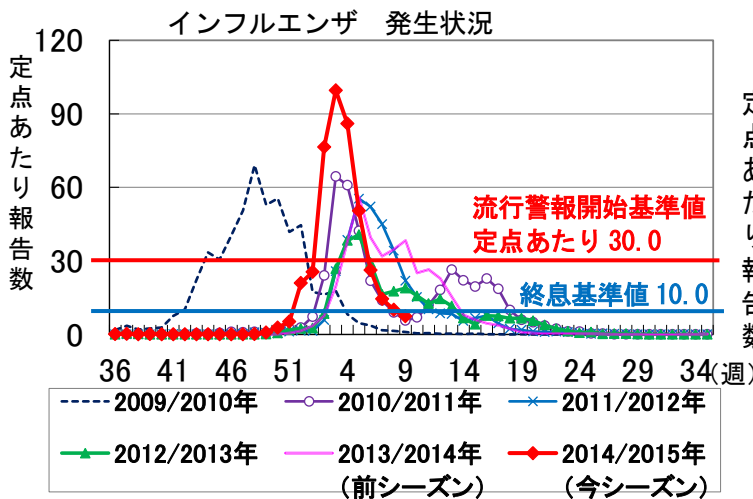
【インフルエンザ】

・報告数は435人（7.4）で、前週比73%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*（16.4）の約0.5倍であった。小林（28.2）、日南（20.4）保健所からの報告が多く、年齢群別では5歳未満が全体の23%、5-9歳が26%、10-14歳が19%、15-19歳が4%、20-59歳が22%、60歳以上が6%を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均値

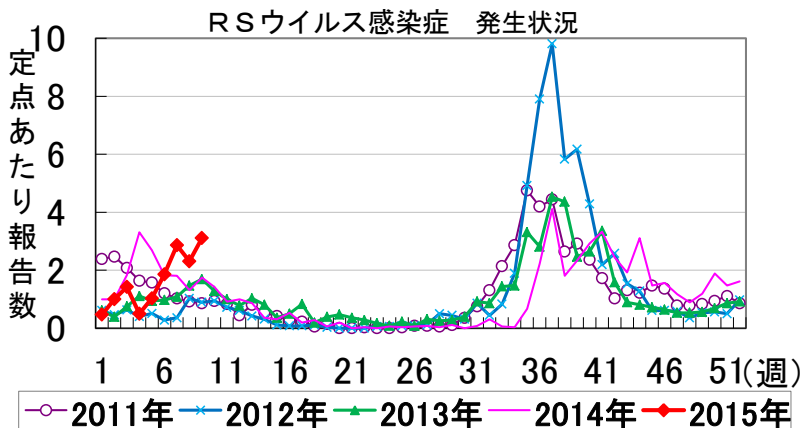


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

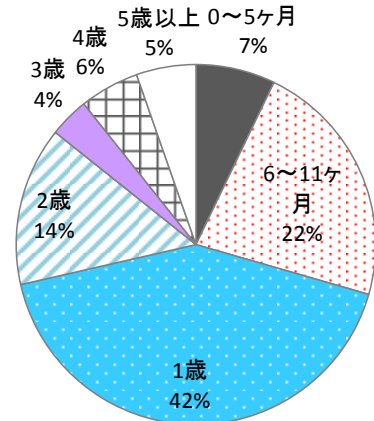


【RSウイルス感染症】

・報告数は 112 人 (3.1) で、前週比 135%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値* (1.4) の約 2.3 倍であった。延岡(14.5)保健所からの報告が多く、年齢別割合はグラフに示す。



RSウイルス感染症 年齢別割合



★流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	インフルエンザ(20.4)
小林	インフルエンザ(28.2)、感染性胃腸炎(22.0)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

* 流行警報レベル開始基準値*

・感染性胃腸炎(20.0)

* 流行注意報レベル基準値*

・インフルエンザ(10.0)

★基幹定点からの報告★

○感染性胃腸炎 (ロタウイルス) : 日向保健所管内で1例報告された。

1~4歳で、原因病原体はロタウイルス群別不明。

🇯🇵 全国第 8 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 8 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	357 例				
3類感染症	細菌性赤痢	4 例	腸管出血性大腸菌感染症	42 例	腸チフス	1 例
	パラチフス	1 例				
4類感染症	E型肝炎	2 例	A型肝炎	6 例	デング熱	3 例
	マラリア	1 例	レジオネラ症	18 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	12 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	13 例
	急性脳炎	2 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3 例
	後天性免疫不全症候群	15 例	ジアルジア症	2 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	23 例	水痘（入院例）	3 例	梅毒	28 例
	播種性クリプトコックス症	2 例	風しん	4 例		

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 90%と減少した。今週増加した疾患はA群溶血性レンサ球菌感染症と感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はインフルエンザとRSウイルス感染症であった。

インフルエンザの報告数は40,817人(8.3)で、前週比68%と減少した。福井県(19.7)、高知県(17.2)、沖縄県(14.5)からの報告が多く、年齢別では5歳未満が全体の約20%、5～9歳が29%、10～14歳が18%、15～19歳が4%、20～59歳が21%、60歳以上が8%を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は23,744人(7.5)で、前週比112%と増加した。大分県(12.1)、宮城県(11.9)、福井県(11.6)からの報告が多く、年齢別では1～4歳が全体の約4割を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2015年 第9週(2月23日～3月1日)

疾病名		第8週	第9週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	592	435	36	71	23	102	141	27	8	17	10
	定点あたり	10.03	7.37	2.25	7.10	3.29	20.40	28.20	4.50	4.00	2.83	5.00
RSウイルス 感染症	報告数	83	112	9	3	58		1	14		26	1
	定点あたり	2.31	3.11	0.90	0.50	14.50	0.00	0.33	3.50	0.00	6.50	1.00
咽頭結膜熱	報告数	19	23		2	9	5				7	
	定点あたり	0.53	0.64	0.00	0.33	2.25	1.67	0.00	0.00	0.00	1.75	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	59	41	19	4	4	3	1	3		7	
	定点あたり	1.64	1.14	1.90	0.67	1.00	1.00	0.33	0.75	0.00	1.75	0.00
感染性胃腸炎	報告数	360	376	108	69	6	38	66	34	8	35	12
	定点あたり	10.00	10.44	10.80	11.50	1.50	12.67	22.00	8.50	8.00	8.75	12.00
水痘	報告数	27	23	1		10	5		1	3	3	
	定点あたり	0.75	0.64	0.10	0.00	2.50	1.67	0.00	0.25	3.00	0.75	0.00
手足口病	報告数	12	8	6					2			
	定点あたり	0.33	0.22	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	1	1						1			
	定点あたり	0.03	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	36	29	15	5	2	2	3	2			
	定点あたり	1.00	0.81	1.50	0.83	0.50	0.67	1.00	0.50	0.00	0.00	0.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	1	1								1	
	定点あたり	0.03	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	2	3	1					1		1	
	定点あたり	0.06	0.08	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性角結膜炎	報告数	9	8	8								
	定点あたり	1.50	1.33	2.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数		1								1	
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2015年第1週～9週)

2類感染症	結核	45例(5)			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1例			
4類感染症	つつが虫病	3例	マラリア	1例	
	ウイルス性肝炎	1例	急性脳炎	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病 1例
5類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例(2)	後天性免疫不全症候群	1例(1)	侵襲性インフルエンザ菌感染症 1例
	侵襲性肺炎球菌感染症	2例	梅毒	2例	播種性クリプトコックス症 1例
	破傷風	1例			

()内は今週届出分、再掲